

檜葉町 地域学校協働センター便り

ならはっ子通信



令和8年1月26日
第58号

発行：地域学校協働センター

住鉱エナジーマテリアル NARAHHA ピッチで運動遊び！

毎月スポーツプログラムの講師をして给我们の檜葉町スポーツ協会の皆さんが、12月15日（月）に住鉱エナジーマテリアル NARAHHA ピッチでの活動を企画してくださいました。今回は、ラダーやカラーコーンを使用した運動遊びを指導していただきました。

この日は約60名の児童が参加し、グループに分かれてそれぞれのレーンに配置されたミッションに挑みました。

足を細かく動かしたり、体の向きを素早く切り返したりする運動に、子どもたちははじめ苦戦していましたが、回数を重ねることに楽しそうに取り組んでいました。

気温が低くとても寒い日でしたが、運動して汗をかき、上着を脱いで活動している子もいました。子どもたちのパワフルさには驚きです。



活動の最後は、障害物競争を行いました。カラーコーンにぶつからないよう後ろ向きで走ったり、ラダーをくぐったりして競いました。レースの最後には、パン食い競争ならぬお菓子食い種目があり、子どもたちは自分の好きなお菓子を一生懸命ジャンプして手に入れていました。

子どもたちは、普段遊ぶことのできないピッチでの活動にとっても喜んでいました。ご協力いただいた檜葉町スポーツ協会のみなさん、ありがとうございました！

今回は、檜葉遠隔技術開発センター
(NARREC) に訪問しました！

キャリアスクールを実施

12月25日（木）に行ったキャリアスクールでは、子どもたちが檜葉遠隔技術開発センターの1日センター長を務めました。

まず、檜葉町役場でセンター長として初仕事は役場のこども課長・町民税務課長・保健福祉課長のお三方と名刺交換を行いました。



遠隔技術開発センターへと移動し、職員のみなさんにご挨拶と年末の交通安全に関する訓示を述べ、その後、施設内を見学し様々な設備を見せていただきました。

午後は、点群データの取得体験です。点群とは何か、どんな場面で使われているのかを教えてください、実際に計測したデータを合成して集合写真を作りました。

普段、経験することのできない大変貴重な体験をさせていただきました。檜葉遠隔技術開発センターのみなさん、ありがとうございました！



～2026年最初の活動は 習字に挑戦！～

2026年のこども教室は、1月13日（火）からスタートしました。最初の活動は、地域住民の森さんご夫婦にご指導いただき習字教室を行いました。こども教室では、2か月に一度の頻度で習字や墨絵教室をやっております。

今回は、今年の干支の「うま」の字を象形文字やひらがな、漢字でそれぞれ書きました。半紙の表裏や筆の持ち方などに気を付けながら取り組み、中には、今年の目標を書く子や、自分の名前を漢字で書くことにチャレンジする子もいました。

回数を重ねるごとに上達しているように感じます。



【お問合せ先】 檜葉町地域学校協働センター（檜葉小学校 1 階） 渡邊・渡部
TEL：（直通）070-7421-5156 （こども課）0240-23-5515
MAIL：kyoudou-n@town.naraha.lg.jp